

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 3 月 28 日作成)

小委員会名	建築とCSR小委員会		主 査 名：本田広昭 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会		委員長名：岩田衛
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2007 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・本学会が提言している社会的共通資本としての建築物について、その社会的責任として対応すべき事項(安全・地球環境・都市景観・歴史の継承など)を提示する。 ・初年度：現状を把握し問題の本質を探る ・2年度：安全・地球環境・都市景観・歴史の継承など各分野の具体的な要求のまとめ 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無		
	本田広昭(オフィスビル総合研究所)・木俣信行(鳥取環境大学)・秋山 宏 (日本大学)・足立直樹(レスポンスアビリティ)・岩井光男(三菱地所設計)・大松 敦(日建設計)・小澤英明(弁護士)・中津元次(中津エフエムコンサルティング)・成田一郎(大成建設)・長谷見雄二(早稲田大学)・平本一雄(東京工科大学)・廣瀬忠一郎(キヤノン)・藤本秀一(独立行政法人建築研究所)・松成和夫(プロコードコンサルティング)・森島清太(鹿島建設)		
設置 WG (WG 名：目的)	「長寿命建築の具現化(S・Iと建築物の安全性)分科会」 「長寿命建築の都市景観と歴史継承分科会」 「建築関係者の社会的責任分科会」		
2006 年度予算	85,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス： http://www.aij.or.jp/jpn/comm/q.htm	

項 目	自己評価
委員会開催数	13 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 「建築とCSR(建築物と社会的責任)小委員会」 報告書 「建築物と社会的責任」
講習会	
催し物	
大会研究集会	
対外的意見表明	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	従来我が国における建築物のスクラップ&ビルトを前提に組み立てられた様々な思想や仕組みを見直すにあたり、「建築物と社会的責任」について、工業製品に関わる社会的責任の基本理念としてOEC D(経済協力開発機構)が打ち出した拡大生産者責任(EPR)を比較対照として整理し、補論としてS・I(スケルトン・インフィル)具体的な制度提言を試みた。
委員会活動の問題点・課題	1. 2 年間に及ぶ研究成果としての本小委員会報告書「建築物とCSR」の内容について、親委員会のホームページへの掲載が閉ざされており、せっかくの研究成果が広報されていない点。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。